

66174201 LTB-V160 V01

BACKUP TAPE STORAGE UNIT

テープバックアップ装置・ ユーザーズマニュアル

LTB-V160シリーズ

Logitec

目次

| | |
|------------------------------|-----------|
| 取扱い上のご注意 | 1 |
| ごあいさつ | 5 |
| ご注意 | 5 |
| 付属品の確認 | 6 |
| 第1章 製品のご紹介 | 7 |
| 1.1 製品の概要 | 7 |
| 1.2 使用環境について | 8 |
| 1.3 各部の名称と機能 | 10 |
| 第2章 接続について | 12 |
| 2.1 接続の前に | 12 |
| 2.2 接続の手順 | 14 |
| 2.3 他のSCSI 機器との併用について | 16 |
| 第3章 接続後の作業 | 18 |
| 3.1 Windows XP の場合 | 18 |
| 3.2 Windows 2000 の場合 | 23 |
| 3.3 Windows NT 4.0 の場合 | 27 |
| 第4章 操作方法 | 29 |
| 4.1 データカートリッジの書込み防止 | 29 |
| 4.2 データカートリッジのセット | 29 |
| 4.3 データカートリッジの取り出し | 30 |
| 4.4 ランプ表示について | 31 |
| 4.5 ヘッドのクリーニングについて | 32 |
| 第5章 補足事項 | 33 |
| 5.1 トラブルシューティング | 33 |
| 5.2 オプション品について | 37 |
| ハードウェア仕様 | 39 |

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

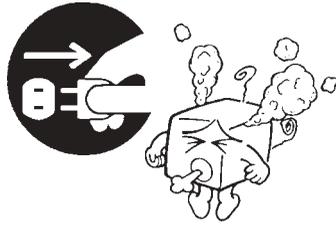


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

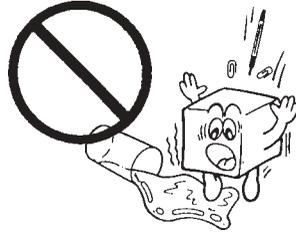
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

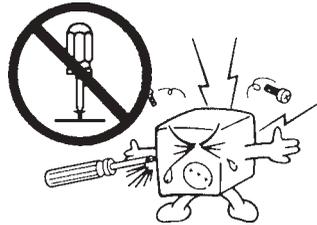
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

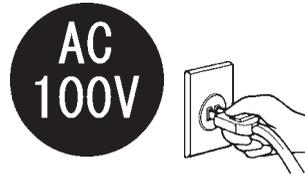
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で

使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



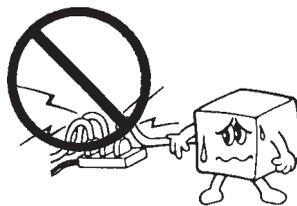
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

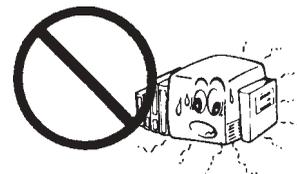
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



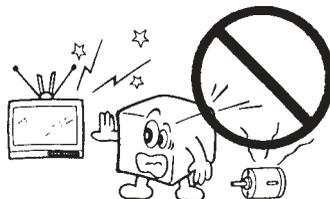
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

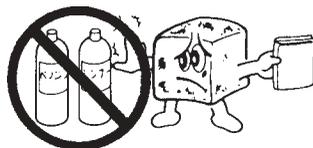


ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

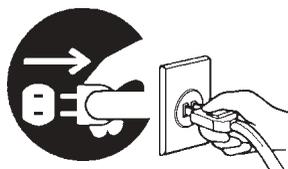


注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



ごあいさつ

この度は弊社テープバックアップユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はテープバックアップユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社テープバックアップユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品の概要

本シリーズは、8mm テープと同じ大きさのメディアである「VXA」を使用した、テープバックアップユニットです。V23 (230m) テープカートリッジ使用により、最大 160GB のファイルをバックアップすることができます。

本製品の特徴

最新の技術を使った VXA-2 規格のドライブです。パケットライティング・多重スキャン・可変速度制御によりリードミス・ライトミスを防ぎます。

非圧縮時 6MB/s、圧縮時 12MB/s でデータ転送が可能です。

WIDE Ultra2 SCSI に対応した、外付け据え置き型テープバックアップユニットです。サーバーに限らず、大容量データのバックアップに気軽にお使いになれます。

各 OS に付属のバックアップソフトウェア (注) に対応しています。また、以下のバックアップソフトウェアでも使用可能です。

| | |
|----------------------|------------|
| ソフトウェア名 | 開発元 |
| Dantz Retrospect 6.0 | Dantz |
| Backup Exec 8.x | ベリタスソフトウェア |

注 : Windows XP Home Edition を除く

1 . 2 使用環境について

接続可能なパソコン

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべて SCSI インターフェースを標準搭載しているか、SCSI インターフェイスボードを接続可能な機種に限定されます。SCSI インターフェースの接続は次ページの注意事項をご参照ください。

| | |
|----------|--------------|
| 各社 | DOS/V パソコン |
| 日本電気株式会社 | PC98-NX シリーズ |



ご注意

発売されているすべての機種で動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。

対応 OS

本製品が対応する OS は以下の通りです。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP Home Edition/Professional
Windows 2000 Professional / Server
Windows NT 4.0 Workstation / Server



ご注意

- ・ インターフェイスボードを増設する場合は第2章「2.1 接続の前に」をご参照ください。
 - ・ 従来のSCSIインターフェースへの接続も可能ですが、その場合は変換コネクタが必要になります。この場合の転送速度はご使用のSCSIインターフェイスボードに依存します。
 - ・ 変換アダプタはご使用の機種種のSCSIコネクタのピン数と本製品のピン数を変換するものでなければなりません。現在ご使用のパソコンのSCSIコネクタのピン数についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。
弊社では50ピンのSCSIコネクタ（Narrow SCSI）との変換コネクタをオプション品として販売いたしております。詳細は第5章「5.2 オプション品について」をご参照ください。
-

Point

ポイント

本製品の最新の対応情報は弊社ホームページまたはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

1 . 3 各部の名称と機能

本製品前面

電源表示ランプ

本製品の電源が ON のときに緑色に点灯します。

カートリッジ挿入口

テープカートリッジをセットする場所です。

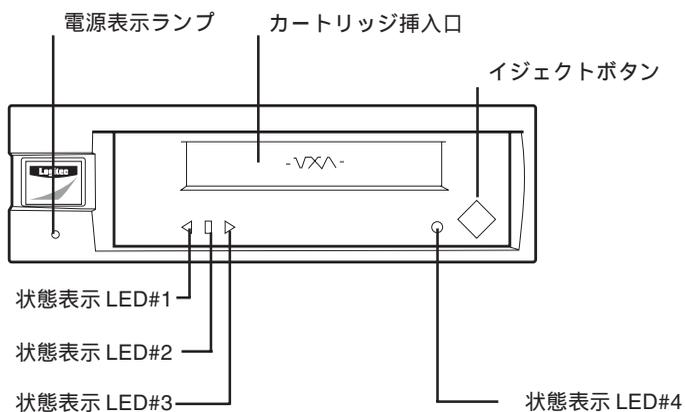
イジェクトボタン

テープカートリッジを取り出したいときに使用します。通常はバックアップソフトの取り出し機能を使用してください。

～ 状態表示 LED#1 ~ 4

ドライブの稼動状態を表示します。

電源を ON にした時にすべての LED がテストのために順番に点灯します。



本製品背面

SCSI コネクタ 1

SCSI コネクタ 2

このコネクタの片方は付属ケーブルでパソコン側の SCSI インターフェイスボードと接続します。もう片方は SCSI 機器を増設する場合に使用しますが、本製品以外に外付け SCSI 機器を使用しない場合は付属の LVD 用ターミネータを使用します。この 2 つのコネクタはまったく同等の機能を持っているので、どちらを使用してもかまいません。

電源スイッチ

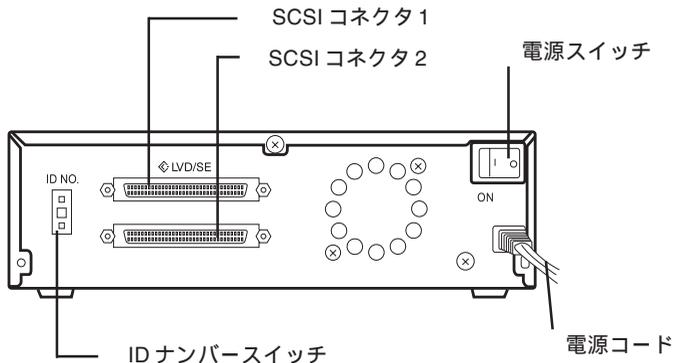
本製品の電源を ON/OFF します。

電源コード

AC100V のコンセントに接続します。

ID ナンバースイッチ

本製品の ID ナンバーを設定します。「+」ボタンを押すと ID ナンバーが「0 15」と増加し、「-」ボタンを押すと ID ナンバーが「15 0」と減少します。通常 SCSI インターフェイスボードは「7」の設定になっていますので、7 以上の設定は特別な理由がない限り使用しないで下さい。



第2章 接続について

2.1 接続の前に

SCSI インターフェイスボードの接続

Wide Ultra 2 SCSI インターフェイスを持たないパソコン本体の場合は、本製品を接続する前に、SCSI インターフェイスボードの接続を行ってください。SCSI インターフェイスボードは以下の製品を推奨します。

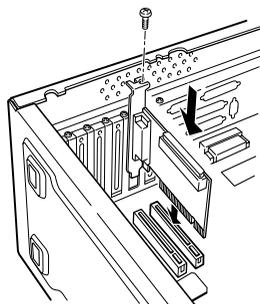
アダプテックジャパン株式会社

| SCSI インターフェイス | バス | 仕様 | 対応パソコン |
|--------------------|-----|-----------|-----------|
| SCSI Card 39160 *1 | PCI | Ultra 160 | Windows 用 |
| SCSI Card 29160 | | | |

*1 本製品付属の SCSI ケーブルでは接続できません。別途 SCSI ケーブル（アダプテックジャパン社：ACK/MNP 等）が必要になります。

上記 SCSI インターフェイスは Ultra 160 SCSI（Wide Ultra 2 SCSI の上位のインターフェイス）のもですが、下位互換性があるため Wide Ultra 2 SCSI 対応機器を接続すればそのままご使用になれます。

接続の手順については、SCSI インターフェイスボードのマニュアルをご参照ください。



参考

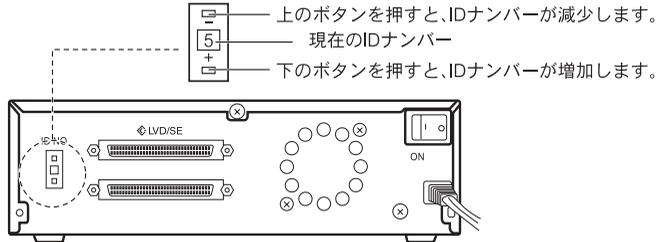
本製品は 50 ピンの SCSI コネクタ（Narrow SCSI）に接続することも可能ですが、その場合、変換コネクタが必要です。「5.2 オプション品について」をご参照ください。

ID ナンバースイッチの設定

本製品を接続する前に、背面の ID ナンバースイッチを確認 / 設定してください。

「ID ナンバー」は、SCSI インターフェースに接続された SCSI 機器を区別するための番号です。そのため、SCSI 機器ごとに「0」～「15」の範囲で他の SCSI 機器と重複しない任意の番号を設定します。

- ・本製品以外に SCSI 機器を使用しない場合は、出荷時設定通り「5」でご使用ください。
- ・他の SCSI 機器（パソコン本体内蔵の SCSI 機器も含む）を併用する場合は、重複しない番号に設定してください。（例えば ID ナンバー「5」に設定された機器が 2 台あるとその SCSI 機器は正常に動作しませんので、どちらかを「5」以外の番号に設定します。）



ご注意

- ・ID ナンバーの設定は本製品の電源が OFF の状態で行ってください。本製品の電源が ON の状態で変更しても認識されません。
- ・ID ナンバー 8 ~ 15 は WIDE SCSI に対応した SCSI インターフェースでしか使用できません。また、通常 ID ナンバー 7 は SCSI インターフェースボードが使用しますので、本製品では設定しないでください。

2 . 2 接続の手順

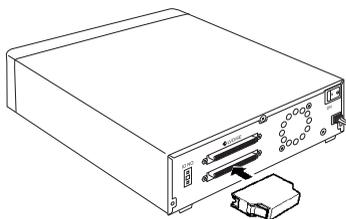
本製品以外に外付け SCSI 機器を併用しない場合、接続は以下の手順で行ってください。接続図等は DOS/V パソコンを元にしてありますが、他の機種でも基本的な接続方法は同じです。



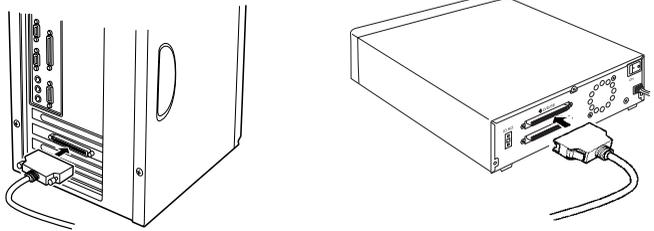
重要なお注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。
 - ・本製品の SCSI コネクタは接点にピンを使用しています。そのため、ケーブルのコネクタを斜めに差し込んだり、無理に力を加えるとピンが曲がってしまいます。
ケーブル接続時は SCSI コネクタの種類と方向を確認して、正面から接続してください。接続しにくい場合は、無理に力を加えないでピンが曲がっていないかどうか確認してください。
-

本製品の SCSI コネクタに付属の LVD 用ターミネータを接続します。本製品には SCSI コネクタは 2 個ありますがどちらに接続しても構いません。

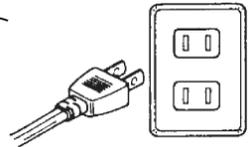


本製品付属の SCSI ケーブルでパソコン側の SCSI インターフェースと本製品の残った SCSI コネクタを接続します。コネクタを差し込んだら軽く引いて抜けないことを確認してください。

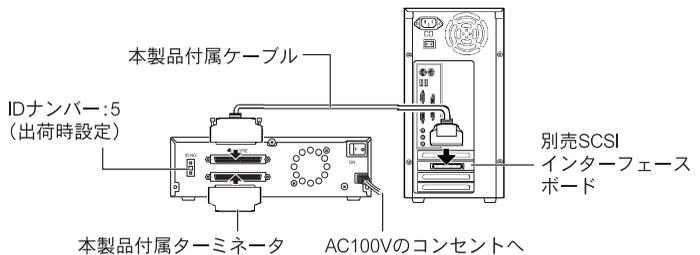


2

本製品の電源コードを AC100V のコンセントに接続します。



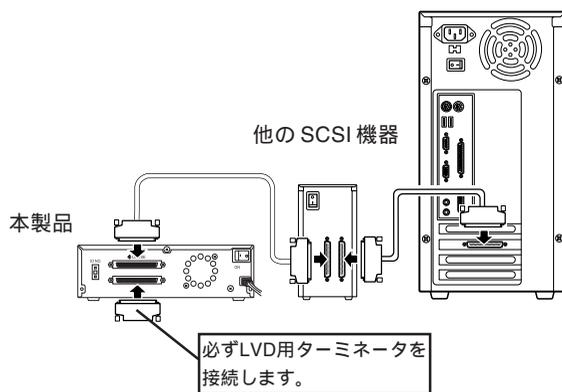
以上で接続は終了です。下の接続図と比べて、間違っていないかどうかを確認してください。



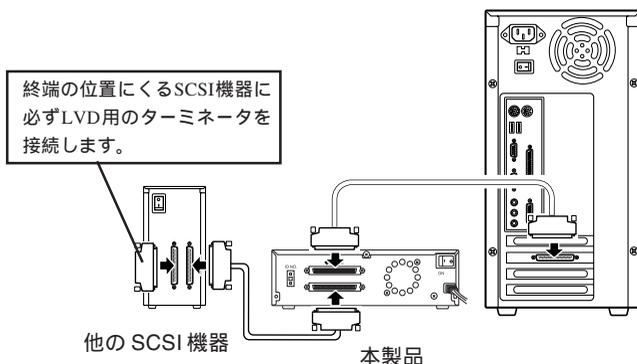
2 . 3 他の SCSI 機器との併用について

SCSI 規格では、複数の SCSI 機器を数珠つなぎにして 1 つの SCSI インターフェイスに接続することができます。本製品を他の SCSI 機器と併用する場合は、下の接続図のように接続してください。その際、次ページの注意事項にご注意ください。

本製品を他の SCSI 機器に増設する場合



本製品の後ろに他の SCSI 機器を増設する場合



注意事項

- ・Wide Ultra 2 SCSI、Ultra 160 SCSI インターフェースには、ケーブル長、接続台数に以下のような制限があります。詳細については SCSI インターフェイスボードのマニュアルをご参照ください。

| | ケーブル長の合計 | 最大接続台数 |
|-------------------|----------|--------|
| Wide Ultra 2 SCSI | 12m 以下 | 15台以下 |
| Ultra 160 SCSI | | |

- ・ID ナンバーは必ず重複しないように設定してください。
- ・終端となる SCSI 機器(パソコン本体から一番遠い SCSI 機器)には、ターミネータを接続するか、SCSI 機器内蔵のターミネータを「有効」に設定してください。
- ・終端となる SCSI 機器(パソコン本体から一番遠い SCSI 機器)には、LVD 用のターミネータを接続してください。(LVD 方式と SE 方式ではターミネータが異なります。Wide Ultra 2 SCSI、Ultra 160 SCSI 対応機器を接続している場合は必ず LVD 用ターミネータを使用しなければなりません。)



ご注意

ターミネータを内蔵している SCSI 機器を併用する場合は、内蔵ターミネータを無効に設定し、その機器が終端にきた場合のみ LVD 用ターミネータを接続してください。不必要に多くのターミネータが有効になると、過電流で機器を損傷する場合があります。

第3章

接続後の作業

本章では、本製品用のドライバをインストールする手順について、各OSごとに説明いたします。ここでご説明する手順はすべて本製品がご使用のパソコンに接続されていることを前提としております。まだ、本製品を接続されていない場合は第2章を参照して本製品の接続を行ってください。

3.1 Windows XP の場合

本製品接続後、本製品 - パソコンの順番で電源を ON にして Windows XP を起動し、管理者権限のあるユーザー（例えば「コンピュータの管理者」など）としてログオンしてください。

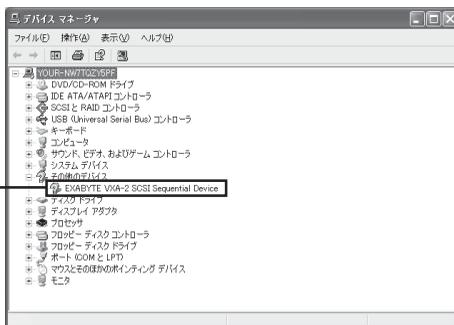
「スタート」 「プログラム」 「マイコンピュータ」と選択します。

「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されますので、「その他のデバイス」の下にある「EXABYTE VXA-2 SCSI Sequential Device」をダブルクリックしてください。

この項目をダブル
クリック



「EXABYTE VXA-2 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。

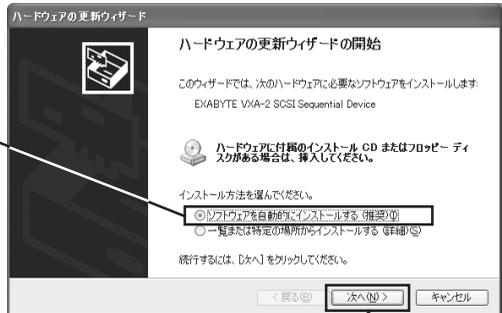
1. 「ドライバ」タブをクリック
2. 「ドライバの更新」ボタンをクリック



ハードウェアの更新ウィザードが起動します。「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」のラジオボタンを「ON()」の状態にして、付属の「Logitec Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

3

1. 「ソフトウェアを自動...」のラジオボタンが「ON()」の状態で、
2. 「Logitec Ware」CD-ROMをセットし、
3. 「次へ」ボタンをクリック

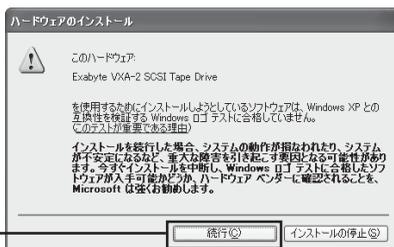


コンピュータがドライバの場所を自動的に検索します。この処理には数秒から数十秒かかります。何もせずしばらくお待ちください。



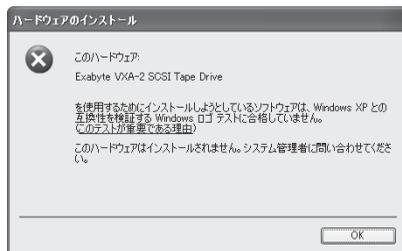
下のウィンドウが表示されます。そのまま「続行」ボタンをクリックしてください。
(表示されない場合は手順 へお進みください。)

「続行」ボタンをクリック



Point ポイント

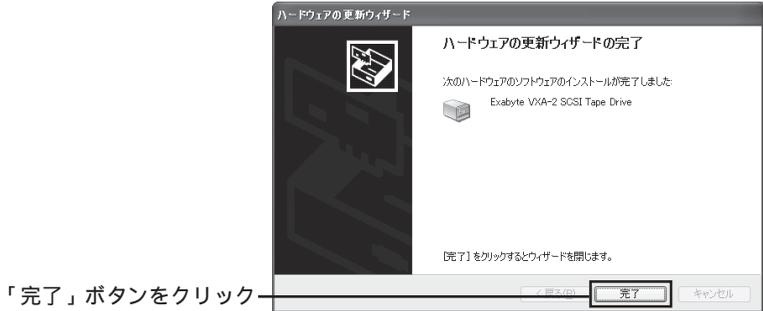
ここで上のようなウィンドウが表示されず、代わりに以下のようなウィンドウが表示される場合は、いったん「OK」ボタンをクリックして、インストールを中止し、「5.1 トラブルシューティング」の「Windows XP でのドライバ署名オプションについて」をご参照ください。



参考

- ・ 本ドライバは、出荷時期の関係で「Windows ログテスト」を完了しておりません。そのため上のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows XP 上で正常に動作することを確認して提供しております。そのままインストールしてご使用ください。

必要なファイルがコピーされ、終了すると以下のウィンドウが表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



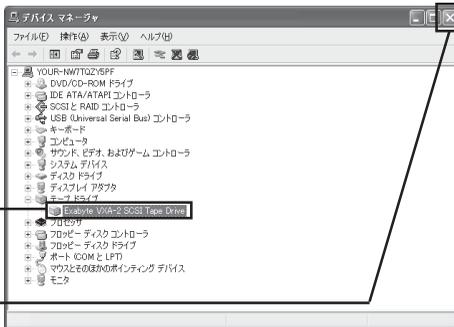
「Exabyte VXA-2 SCSI Tape Driveのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

3



最後に「デバイスマネージャ」ウィンドウで「テープドライブ」のカテゴリに「Exabyte VXA-2 SCSI Tape Drive」が登録されているかを確認し、クローズボックスをクリックしてください。

1. 「Exabyte VXA-2 SCSI Tape Drive」が登録されていることを確認
2. 確認が終了したらクローズボックス (X) をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。「Logitec Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出しておいてください。これで本製品は使用可能な状態になりました。第4章では操作方法についてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。

3.2 Windows 2000 の場合

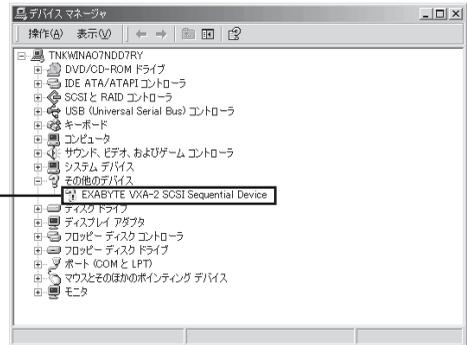
本製品接続後、本製品 - パソコンの順番で電源をONにしてWindows 2000を起動し、管理者権限のあるユーザー（例えば「Administrator」など）としてログオンしてください。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されますので、「その他のデバイス」の下にある「EXABYTE VXA-2 SCSI Sequential Device」をダブルクリックしてください。

この項目をダブルクリック

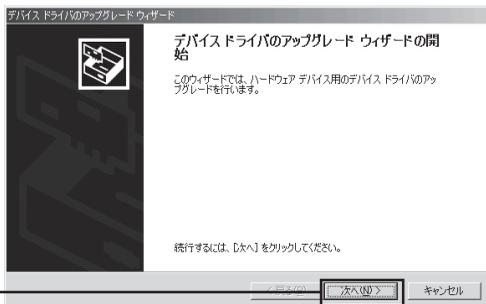


「EXABYTE VXA-2 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「全般」タブが選択されていることを確認し、「ドライバの再インストール」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウインドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



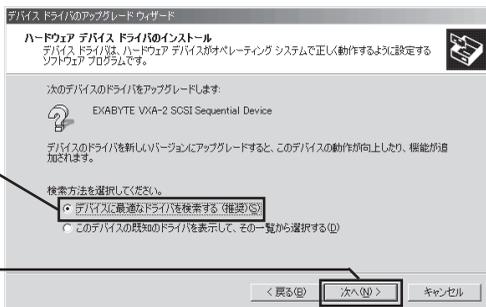
「次へ」ボタンをクリック

以下のウインドウが表示されますので、「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」のラジオボタンが「ON ()」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

3

1. 「デバイスに最適な...」のラジオボタンが「ON ()」になっていることを確認し、

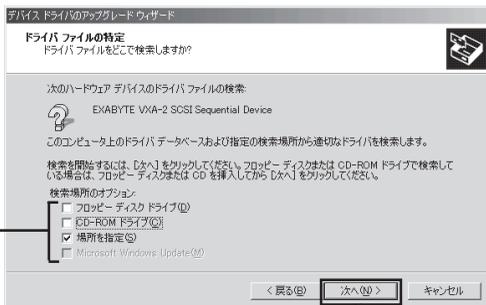
2. 「次へ」ボタンをクリック



以下の画面が表示されますので、検索場所のオプションで「場所を指定」だけがチェックされている状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 「場所を指定」だけがチェックされている状態で、

2. 「次へ」ボタンをクリック

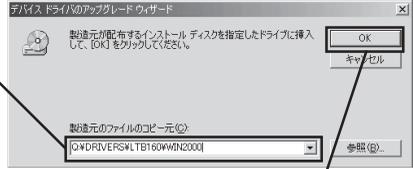


以下のウィンドウが表示されるので、付属の「Logitech Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「配布ファイルのコピー元」のテキストボックスにドライブが保存されているパス名を「Q:¥DRIVERS¥LTB160¥WIN2000」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ここに以下の様に入力、

Q:¥DRIVERS¥LTB160¥WIN2000

2. 「OK」ボタンをクリック



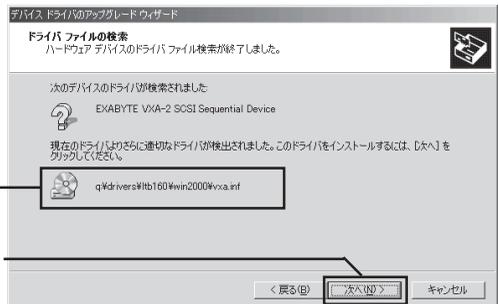
ご注意

- ・ 入力するパス名の「Q:」の部分は「Logitech Ware」CD-ROM がセットされた CD-ROM ドライブのドライブ名となります。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。
- ・ CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、「Logitech Ware」CD-ROMをセットしたときにセットアップランチャーが起動します。しかし、本手順ではセットアップランチャーは使用しませんので、「閉じる」ボタンをクリックして、セットアップランチャーを終了させてください。

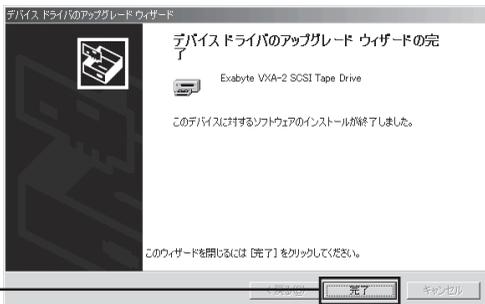
ドライブの検索が行われ、以下のウィンドウが表示されます。「このデバイスのドライブが見つかりました。」の下に「Q:¥DRIVERS¥LTB160¥WIN2000¥VXA.INF」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。(この場合の「Q:」も環境により異なります)

1. この部分を確認

2. 「次へ」ボタンをクリック

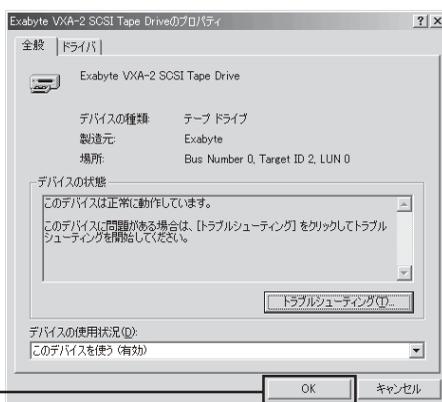


必要なファイルがコピーされ、終了すると右のウィンドウが表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



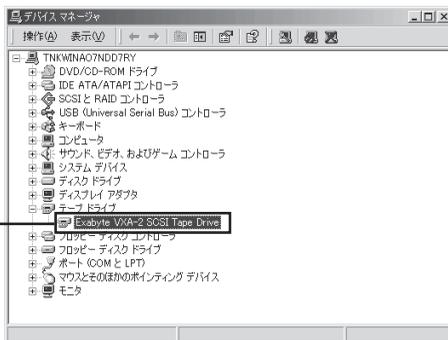
「完了」ボタンをクリック

「Exabyte VXA-2 SCSI Tape Driveのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

最後に「デバイスマネージャ」ウィンドウで「テープドライブ」のカテゴリに「Exabyte VXA-2 SCSI Tape Drive」が登録されているかを確認し、クローズボックスをクリックしてください。



この項目を確認

以上でドライバのインストールは終了です。「Logitech Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。これで本製品は使用可能な状態になりました。第4章では操作方法についてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。

3.3 Windows NT 4.0 の場合

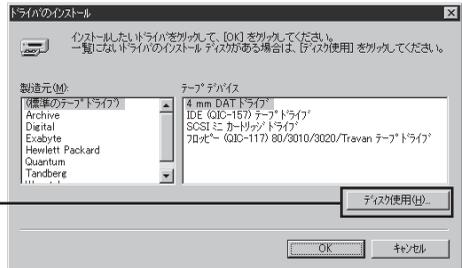
本製品接続後、本製品 - パソコンの順番で電源を ON にして Windows NT を起動し、管理者権限のあるユーザー（例えば「Administrator」など）としてログオンしてください。

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」と選択し「コントロールパネル」を開き、表示される一覧の中から、「テープデバイス」のアイコンをダブルクリックしてください。



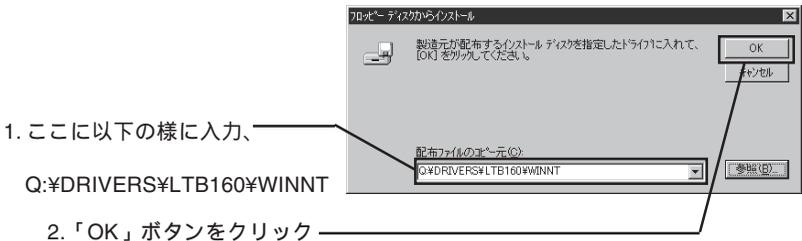
このアイコンをダブルクリック

ドライバの検出が行われた後、以下のような「ドライバのインストール」ウィンドウが表示されますので、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。



「ディスク使用」ボタンをクリック

以下のウィンドウが表示されるので、付属の「Logitech Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「配布ファイルのコピー元」のテキストボックスにドライバが保存されているパス名を「Q:¥DRIVERS¥LTB160¥WINNT」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（次ページのご注意を参照してください。）



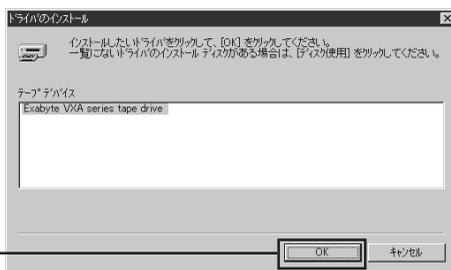
3



ご注意

- ・ 入力するパス名の「Q:」の部分は「Logitec Ware」CD-ROM がセットされた CD-ROM ドライブのドライブ名となります。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。
- ・ CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、「Logitec Ware」CD-ROMをセットしたときにセットアップランチャーが起動します。しかし、本手順ではセットアップランチャーは使用しませんので、「閉じる」ボタンをクリックして、セットアップランチャーを終了させてください。

「ドライバのインストール」のウィンドウに「EXABYTE VXA series tape drive」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



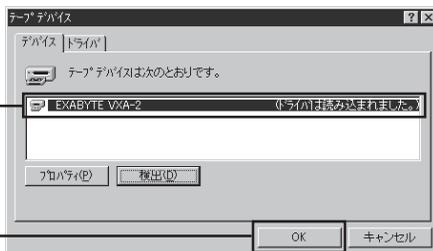
「OK」ボタンをクリック

右のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



ドライバのインストールが行われ、「テープデバイス」ウィンドウが表示されます。デバイス名が「EXABYTE VXA-2 (ドライバは読み込まれました)」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。



1. この項目を確認

2. 「OK」ボタンをクリック

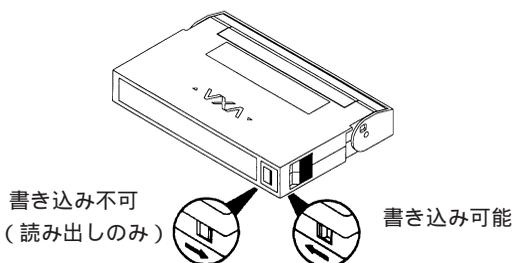
以上でドライバのインストールは終了です。「Logitec Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出しておいてください。これで本製品は使用可能な状態になりました。第4章では操作方法についてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。

第4章 操作方法

4.1 データカートリッジの書き込み防止

データカートリッジには誤った書き込みを防ぐために、書き込み防止タブが備えられています。

書き込み防止タブは、ボールペンまたはその他の適切な道具を使って移動させることができます。データカートリッジへの書き込みを防ぐには、カートリッジの後ろにある防止タブをスライドして、穴が見えるようにします。この状態にすると、データカートリッジからの読み出しのみ可能となり、書き込みはできなくなります。



4.2 データカートリッジのセット

データカートリッジのセットは以下の手順で行います。

データカートリッジの書き込み防止タブが、正しくセットされているかどうかを確認します。

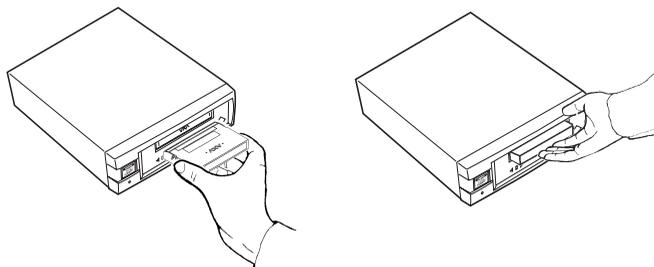
データカートリッジのラベルを貼る面を上にして、データカートリッジを本装置のデータカートリッジ挿入口に挿入します。

ある程度まで挿入するとデータカートリッジは自動的に引き込まれ、ローディング後、表示 LED#2 がグリーンに点灯します。

4.2 データカートリッジのセット

カートリッジラベルは少しくぼんだラベルエリアに確実に貼り付けてください。メカ機構でカートリッジが引っかけられないように、以下の事項を守ってください。

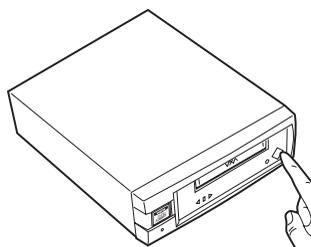
- ラベルが剥がれていないこと
- ラベルエリアにラベルのみ貼ること
- ラベルの上から新たにラベルを重ね貼りしないこと



4.3 データカートリッジの取り出し

データカートリッジの取り出しは以下の手順で行います。

本装置の取り出しボタンを押します。テープのアンロード動作が開始されると、表示LED#2がグリーンに点滅します。アンローディングが正常に終了すると、データカートリッジは自動的に排出され、LED#2は消灯します。取り出したデータカートリッジはテープに入れて保管します。

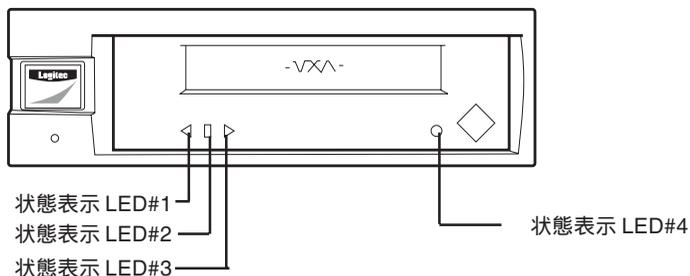


ご注意

電源スイッチを切る場合は、必ず取り出しボタンを押してデータカートリッジを取り出してから切ってください。

4.4 ランプ表示について

本装置には4つの状態表示LEDがあり、ドライブの動作により次表のように点灯・点滅します。



| 操作 | LED 1 | LED 2 | LED 3 | LED 4 |
|--|---------------|---------------|---------------|--------|
| Power On Self Test | *1 参照 | *1 参照 | *1 参照 | *1 参照 |
| カートリッジが入っていない状態でのレディ | 消灯 | 消灯 | 消灯 | グリーン |
| インターフェース動作中 | 消灯 | 消灯 | 消灯 | グリーン点滅 |
| カートリッジのロードアンロード | 消灯 | 消灯 | グリーン点滅 | グリーン |
| カートリッジレディ | 消灯 | グリーン | 消灯 | グリーン |
| リード | 消灯 | 消灯 | グリーン | グリーン点滅 |
| ライト | 消灯 | 消灯 | オレンジ | グリーン点滅 |
| スペースフォワード | 消灯 | 消灯 | グリーン点滅 | グリーン |
| スペースリバース & リワインド | グリーン点滅 | 消灯 | 消灯 | グリーン |
| クリーニング中 | グリーン点滅 | 消灯 | グリーン点滅 | グリーン |
| クリーニング要求 (クリーニングカートリッジを使用してください) | 消灯 | オレンジ点滅 | 消灯 | グリーン |
| クリーニングカートリッジ交換 (新しいクリーニングカートリッジを使用してください) | 消灯 | オレンジ & グリーン点滅 | 消灯 | グリーン |
| 回復可能なエラー *2 | オレンジ | グリーン | オレンジ | グリーン |
| 回復不可能なエラー *3 | オレンジ | 消灯 | オレンジ | グリーン |
| ハードエラーです。 お買い求めの販売店に 修理を依頼してください。 *4 | (不定) | (不定) | (不定) | レッド点滅 |
| テープ故障 *5 | オレンジ & グリーン点滅 | 消灯 | オレンジ & グリーン点滅 | 消灯 |
| 環境温度仕様オーバー *6 | 消灯 | 消灯 | 消灯 | オレンジ |

- *1 オレンジ&グリーン(LED)が右から左、左から右へ順にスクロールします。LED#4はレッド&グリーンに点灯します。このテストが終わると、LED#4はグリーンに点灯します。
- *2 回復可能なエラーです。操作を再度実行してください。
- *3 この状態では回復不可能なエラーです。電源を再投入して、操作を再度実行してください。
- *4 復旧不可能なハードエラーです。ドライブを修理する必要があります。
- *5 カートリッジ自身の障害です。カートリッジを交換して、操作を再度実行してください。
- *6 ドライブ内部のカートリッジパス温度が温度制限47°を超えました。周辺の温度を低くして、操作を再度実行してください。

4.5 ヘッドのクリーニングについて

本装置はデータの書き込み、読み出しを磁気ヘッドで行っています。

ヘッドがほこりやゴミなどで汚れると、データの書き込み・読み出しが正常に行われないことがあります。ヘッドに汚れがこびり付くと、永久的に使用できなくなります。このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカートリッジによる定期的なクリーニングを必ず行ってください。

また、以下の場合には必ずクリーニングを行ってください。

本装置の使用時間が70時間ごとに1回の割合でクリーニングしてください。クリーニングが必要になると、カートリッジ排出時に表示LED#2がオレンジ色に点滅します。なお、クリーニング後にオレンジ&グリーン点灯した場合は、クリーニングカートリッジが使用限界に達しているため、新品と交換し再度クリーニングを実行してください。

本装置が未使用の場合でも、1ヶ月に1回。

新品のデータカートリッジをセットする前。

本装置内部のクリーニングブラシにより、自動クリーニング動作が数秒間行われた場合（機械的な動作音が発生します）。

注）機械的な動作音は装置の故障ではありません。

クリーニングの方法

クリーニングカートリッジを使用して、以下の手順でクリーニングをします。

クリーニングカートリッジを本装置のカートリッジ挿入口にセットします。本装置は自動的にカートリッジを引き込み、ローディング後、ヘッドのクリーニングを実施します。

約75秒経過すると、カートリッジ挿入口より、クリーニングカートリッジが排出されます。

クリーニングカートリッジを取り出し、使用回数がかかるようにカートリッジケース内のクリーニングチェック用紙に「レ」を記入しておきます。クリーニングカートリッジは約20回使用できます。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

[動作上の問題]

本製品を接続したらシステムが起動しなくなった

- ・SCSI ID 番号の設定は合っていますか？他の SCSI 機器と番号が重複しないようにしてください。
- ・7より上の SCSI ID 番号に設定する場合は、接続する前に SCSI インターフェイスボードのID番号の設定を15にしておいてください。これは、コンピュータが SCSI 機器を認識する際に番号の大きい方から順に認識するため、周辺機器より先に SCSI インターフェイスボードを認識させる必要があるためです。

本製品が認識されない

- ・本製品の電源の状態と接続の状態をもう一度確認してください。
- ・SCSI インターフェイスボードは正常に認識されていますか？
- ・SCSI インターフェイスボードのドライバはインストールされていますか？

「マイコンピュータ」上にドライブアイコンが表示されない

- ・本製品は、正常に認識された場合でも、マイコンピュータ上にはアイコンが登録されません。実際にドライブがきちんと接続されたかどうか確認したい場合は、デバイスマネージャから確認してください。

テープカートリッジを受け付けない

- ・いったん VXA テープカートリッジを排出し、本装置とパソコンの電源を OFF にします。10 秒ほど待ってから本製品 パソコンの順で電源を入れ、テープカートリッジを挿入します。LED が通常状態（カートリッジレディの状態）になるかどうか確認してください。もし、状態表示 LED が点灯しなかったら、電源コネクタがきちんと入っているか確認してください。
- ・ドライブがセルフテストに成功し、通常状態（カートリッジなしのレディ）の LED が点灯しているにもかかわらず、テープが挿入できない場合はドライブが故障している可能性がありますので、お問い合わせいただいた販売店にご相談ください。

ドライブをリセットする必要がある

- ・電源を一度オフにし、5 秒程度置いてから再びオンにしてください。

Windows XP 環境でドライバをインストールすると「ハードウェアのインストール」画面から先に進まない

「Windows ログテスト」を受けていないドライバ/セットアップ情報をインストールしようとする、「ハードウェアのインストール」のウィンドウが表示されますが、「続行」ボタンが表示されない場合は、エラーが発生して、インストールを完了することができません。この現象は、「ドライバ署名オプション」が「ブロック」に設定されている場合に起こります。ドライバ/セットアップ情報のインストールを完了するためには、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更してから、インストールを行う必要があります。ここでは、変更の手順を説明します。



ご注意

- ・使用するパソコンをシステム管理者の方がご設定いただいている場合には、本記載内容をシステム管理者の方にご参照いただき、設定変更等はシステム管理者の方が行ってください。
- ・ここで説明する手順を実行すると、「ドライバ署名オプション」を「警告」に変更します。必要に応じてドライバ/セットアップ情報のインストール終了後、変更前の「ブロック」の状態に戻しておいてください。

「スタート」 - 「マイコンピュータ」と選択してください。

「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「ドライバの署名」ボタンをクリックしてください

「ドライバ署名オプション」ウィンドウが表示されるので「どのように処理しますか」欄の設定を「警告」に変更して「OK」ボタンをクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウを開いてください。以上で「ドライバ署名オプション」の変更は終了です。ドライバのインストールが完了していない場合は、「3.1 Windows XPの場合」を参照してドライバのインストールを再開してください。

テープカートリッジを排出できない

- ・イジェクトボタンを押してもテープカートリッジを排出できない場合は、以下の手順をおためしてください。

バックアップソフトウェアがメディアの排出を制御している可能性があります。バックアップソフトウェアのイジェクト機能をお試しください。

バックアップソフトウェアのイジェクト機能を使用しても排出されなかった場合、以下の手順でドライブリセットを行います。



ご注意

この手順は、カートリッジに記録された内容を消去しますのでご了承ください。

ドライブの電源を切り、10分ほど待った後、再び電源をONにします。

ドライブの機能により、リセットする前に自動的にフォーマットリカバリを行います。フォーマットリカバリが終了するまでしばらくお待ちください。

- ・それでも排出されない場合は、カートリッジがドライブに引っかかっている可能性があります。この場合はドライブの修理が必要です。お求めの販売店または巻末の案内に従って修理を依頼してください。

[読み書きの問題]

状態表示 LED#2 が点滅する

- ・リードエラーが発生した場合、状態表示 LED#2 がオレンジ色に点滅してヘッドクリーニングを要求します。付属のクリーニングカートリッジを使用して、ヘッドのクリーニングを行ってください。それでも解決しない場合は、以下の項目をお試しください。

1. テープを一度排出し、再度セットしてみる
2. 新しいクリーニングカートリッジを使ってヘッドクリーニングしてみる
3. 新しいテープを使用して、再度リード・ライトを試してみる

もし上記の項目を試しても問題が解決しない場合は、ドライブが故障している可能性がありますので、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

[テープ自身の問題]

もし、バックアップソフトがテープエラーを報告した場合、下記のいずれかの現象が起こっている可能性があります。

1. ドライブのヘッドクリーニングを必要としています。定期的にクリーニングを行っている場合、クリーニングカートリッジが汚れている可能性があります。
2. 使用しているテープカートリッジが、VXAテープカートリッジであることを確認してください。本製品には、VXA規格のテープカートリッジしか使用できません。AIT等、他の規格の8mmテープカートリッジは絶対に使用しないで下さい。
3. テープへの保存を行っている場合、ライトプロテクトをかけていませんか？書き込み防止タグが「REC」(書き込み可能)になっているかどうか確認してください。(書き込み可能状態のテープカートリッジは、プロテクトホールが赤くなっています)
4. VXA テープはきちんとドライブにセットされていますか？いったんテープを排出させ、もう一度セットしてみてください。

上記事項に該当しない場合は、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

5.2 オプション品について

変換コネクタ、SCSI ケーブル、テープカートリッジなどが必要な場合はここでご紹介する弊社より発売されているものをお求め下さい。

テープカートリッジ

本製品に使用できるテープカートリッジはVXA規格に対応したのもののみ使用できます。

| 規格 | 容量 |
|---------|------------|
| VXA V6 | (62m テープ) |
| VXA V10 | (100m テープ) |
| VXA V17 | (170m テープ) |
| VXA V23 | (230m テープ) |

| 型番 | 内容 |
|-------------|---------------------------|
| LM- V17X 1 | VXA 170 m メディア |
| LM- V17X 5 | VXA 170 m メディア 5 本パック |
| LM- V17X 10 | VXA 170 m メディア 10 本パック |
| LM- V23X 1 | VXA- 2 230 m メディア |
| LM- V23X 5 | VXA- 2 230 m メディア 5 本パック |
| LM- V23X 10 | VXA- 2 230 m メディア 10 本パック |
| LM- VXACL | クリーニングカートリッジ *1 |

*1 クリーニングカートリッジは1本に付き最大20回まで使用可能です。



ご注意

VXA規格に対応したものの以外の8mmテープカートリッジは使用できません。「VXA」とはっきり書いてあるテープカートリッジのみご使用ください。VXA規格に対応していないテープカートリッジを使用すると、故障やデータ破壊の原因となります。この場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。

68 ピン - 50 ピン変換コネクタ

本製品を 50 ピンの SCSI コネクタ (Narrow SCSI) に接続したい場合は、以下の変換コネクタをご使用ください。

| 型番 | コネクタ形状 |
|------------|---------------------------|
| LCN-6850WW | D-Sub ハーフピッチ 68 ピン × 1 オス |
| | D-Sub ハーフピッチ 50 ピン × 1 メス |

ケーブル

本製品付属のケーブルと同じものです。SCSI 機器の増設時に必要な場合があります。

| 型番 | 長さ | コネクタ形状 |
|-------------|------|------------------------|
| CB-68WW-003 | 0.3m | D-Sub ハーフピッチ 68 ピン × 2 |
| CB-68WW-008 | 0.8m | D-Sub ハーフピッチ 68 ピン × 2 |

ハードウェア仕様

| | | | |
|--------------|-----|--|----------------------------|
| 機種名 | | LTB-V160GSU | |
| 使用可能メディア | | VXA V6/ V10/ V17/ V23 | |
| 搭載ドライブ数 | | 1 | |
| インターフェース | | Ultra 2 WIDE SCSI/ LVD | |
| 記憶容量 | | 1 カートリッジあたり 圧縮時/非圧縮時 160GB/ 60GB (V23) 118GB/ 59GB(V17) 80GB/ 40GB(V10) 40GB/ 20GB(V6) | |
| 転送速度 | | 最大12MB/ s (圧縮時) / 最大6MB/ s (非圧縮時) | |
| バッファサイズ | | 2M B | |
| コネクタ形状 | | D-sub ハーフピッチ 68pin | |
| 環境条件 | 動作時 | 温度 | 5 ~ 3 5 |
| | | 相対湿度 | 2 0 % ~ 8 0 % (ただし、結露なきこと) |
| | 保管時 | 温度 | - 2 0 ~ 6 0 |
| | | 相対湿度 | 1 0 % ~ 9 0 % (ただし、結露なきこと) |
| 入力電圧 | | AC100V ±10% | |
| 消費電力 (定格) | | 9.2W | |
| 外形寸法 (W×H×D) | | 200mm × 60mm × 250mm | |
| 質量 | | 2.5kg | |

お問い合わせ用紙

送付枚数 (本用紙を含めて)

枚

| | | | |
|----------|---------|-------|--|
| お問い合わせ製品 | ユニット機種名 | | |
| | シリアルNo. | | |
| お客様のご氏名 | | | |
| 会社名 | | | |
| 所属部課名 | | | |
| 住所 | | | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |

ご使用環境を教えてください

| | | | | | |
|--|----------------------------|--------|--|------|--|
| PC本体 | メーカー | | | 型番 | |
| | CPU | | | クロック | |
| IDE製品接続状況 (HDやCD-ROMなども 接続状況を記入) | プライマリ | Master | | | |
| | | Slave | | | |
| | セカンダリ | Master | | | |
| | | Slave | | | |
| OS | Windows XP ・ 2000 ・ NT 4.0 | | | | |

お問い合わせの前に以下の点をご確認いただき、チェックしてください。

- ・ 本製品と同じバスに機器が接続されていますか？その機器を外してみましたか？
機器は接続されていない・外した・外していない
- ・ 機器を外したときも不具合は発生しましたか？(Yes/No)外した機器はなんですか？
起動用以外のHDD ・ 標準搭載のCD-ROM ・ その他()
- ・ システムのプロパティ/デバイスマネージャ/ハードディスクコントローラに記載されている名称をすべて答えてください。

本用紙を表紙として、別紙にお問い合わせ内容を添付してください。

- ・ 不具合が発生している場合の作業状況と、発生までの手順を書いてください。
- ・ エラーが発生している場合は、そのエラー内容をすべて書いてください。

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株)伊那サービスセンター(3番受入窓口)

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア(なるべく詳しく)

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、上記の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意： 電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667 (東京) (祝祭日を除く月～金曜日)

FAX. 0265-74-1456 (長野) 9:30～12:00、13:00～17:00)

間違いの電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitech テープバックアップ装置・ユーザズマニュアル

2003年 4月初版 LTB-V160 V01

製造元：ロジテック株式会社

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形1-12-14 日本生命浅草ビル



<http://www.logitech.co.jp/>